

NEW OKUNO HOSOMICHI-YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート
⑳

自然と歴史をたどるみち

Shizen-to-rekishi-o-tadoru-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

- 高島町元町までは
高島駅から車で15分。
- 高島町鳥居町までは
高島駅から車で20分。



観光・宿泊のお問合せ	高島町観光協会 〒999-21 高島町大字山崎200-1	☎0238-57-3844
交通のお問合せ	JR高島駅 〒999-21 高島町大字山崎201	☎0238-57-3104
コースのお問合せ	高島町商工観光課 〒992-03 高島町大字高島436	☎0238-52-1111(代)
	山形県環境保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2207

表紙の写真は、安久津八幡神社

みどころ案内
GUIDE

羽山古墳

Hayama-kohun



羽山古墳 勾玉

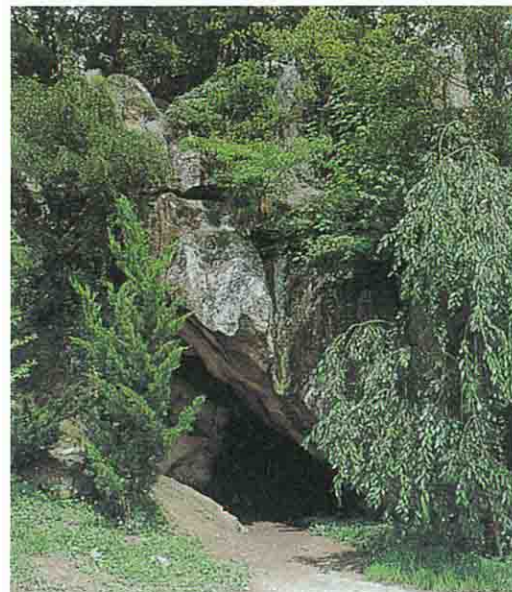
標高280m程の南に面した横穴式古墳で、十数基あったといわれる羽山古墳群のうちただ一つ残ったものです。出土品には、めのうの勾玉などの5種類650個の玉類、金環19個等が発見され、副葬品の少ない本県古墳のなかでは特に重要な古墳です。
※めのう——光沢のある鉱石。

日向洞くつ

Hinata-dokutsu

江戸時代当時、樹林の奥のこの洞くつは、誰がいうともなく鬼の岩屋として立ち入り禁止の地だったといわれています。その後、次第に衆人の目にとまるようになり、石鏝などを拾う人も現れるようになりました。

洞くつは通称立石の標高230mの山麓にあり、西から第4岩陰、第1洞くつ、第2洞くつ、第3岩陰からなる遺跡群です。昭和30年秋以降4次にわたって、東大教授山内清男博士、山形大学柏倉亮吉教授の指導のもとに発掘調査が行われ、その結果、何千年もの間使用されていた複合遺跡であることが判明しました。中央の第1洞くつは、入口の高さ3.5m、幅5m、奥行14mのひょうたん状の洞くつで、洞くつ前面の堆積層は2m余りもあり、基盤の五層のうち第1層の表土には縄文晩期以降の、造物第2層には晩期から草創期各時期のもの、最下層には縄文時代草創期の遺物が含まれていました。この層の土器や石器は、考古学的には、旧石器文化から縄文文化への発展過程を解明する上で極めて重要であるとされ、(外に人骨・クマ・シカ・キツネ・カモ・ヤマドリほか多数の骨も発掘)縄文草創期(1万年前頃)の存在が全国的に理解され、学会からも高く評価されています。
※石鏝——石で作った矢じり。



日向洞くつ

万葉の歴史薫る「まほろばの里」高島。このみちは、県内でも特に貴重な羽山古墳、日向洞くつなどの考古学界で注目されている史跡と、自然豊かな蛭沢湖をめぐることができます。数多くある史跡をめくり、太古の人々の生活のようすを感じることができるこのみちで歴史浪漫を感じて下さい。

ひるざわ
蛭沢湖

Biruzawa-ko

昭和11年に着工し、13年の歳月と延べ40万の人力を動員して完成した灌漑用の人造湖(蛭沢貯水池)です。

湖面積25ha・最深部21m・貯水量220万トン・灌漑面積1,400ha。蛭沢貯水池の完成により下流地域の大规模な乾田化が促進されました。

春の雪解け水を満々とたたえた湖は、湖畔にそそり立つ奇岩怪石や松の緑と調和して美しい景観を見せてくれます。

西方奥に森林公園が造成され、また蛭沢湖から観音岩まで、4kmの遊歩道が完備し、展望台もありハイキングコースとして親しまれています。



蛭沢湖

夏はキャンプ村も開村され自然の中での生活を味わうことができます。また米沢と高島を結ぶ広域自転車道路の終点地で高島駅から「まほろばの里」の風景をのんびり楽しみながらのサイクリングも体験できます。

安久津八幡神社

Akutsu-hachiman-jinja

安久津八幡神社は、貞観2年(860)、慈覚大師が豪族、安久津磐三郎の協力で阿弥陀堂を建てたのが始まりと言われ、後、平安後期に奥州平定のため、源義家が、戦勝を祈願して、鎌倉鶴岡八幡を勧請したと伝えられていますが、定かではありません。生い茂る樹木に囲まれ苔むす石畳参道の入口左手に、端麗な姿の三重塔、参道途中に舞楽殿、その奥に本殿があります。この三つの建造物は県の指定文化財となっています。

三重塔は寛政9年(1797)に百姓の寄附で再建されたもので、初建は、寛永2年(1625)といわれ、置賜地方唯一の層塔です。舞楽殿は、室町末期のものといわれ、毎年5月3日には、倭(やまと)舞、9月15日には延年の舞が気品高く、古式豊かに舞われます。

町歴史公園の東に位置し、神社西方の山は5千本ほどのつつじで彩られます。

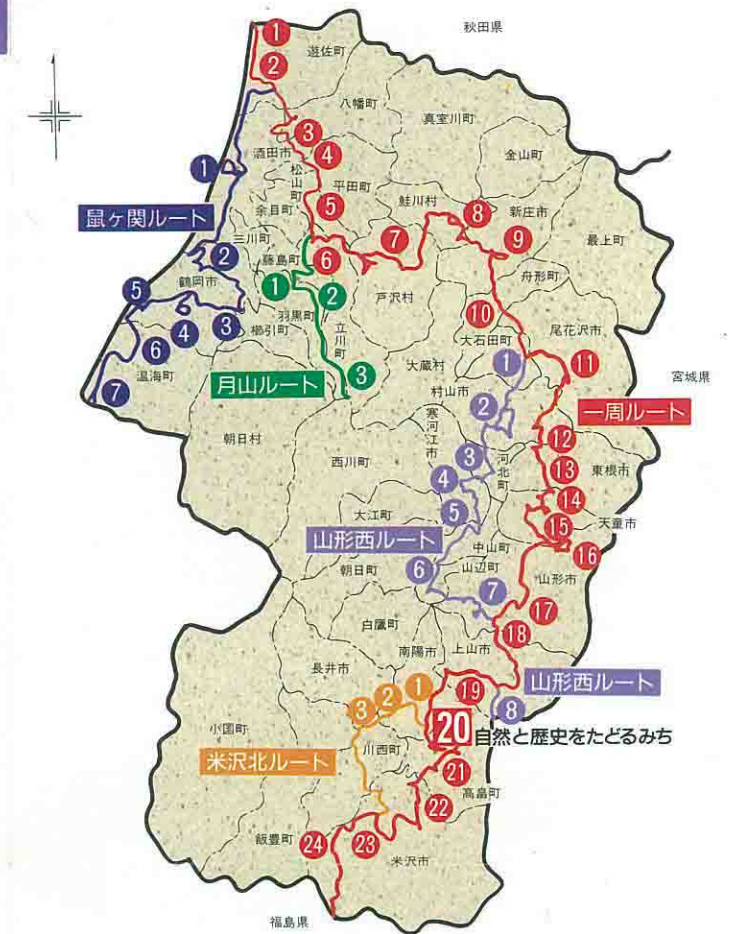
- ※慈覚大師——天台宗山門派の開祖円仁。
- ※勧請——神仏を分置し他の場所にまつこと。



安久津八幡神社三重塔

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



"新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。